

---

# 衝撃の結末

岡谷

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

衝撃の結末

### 【コード】

N7069F

### 【作者名】

岡谷

### 【あらすじ】

衝撃の結末。ただそれだけです。

「あゝ、どうしよう」

男は悩んでいた。

「うゝ、何か、何かないのか」

男はすごく悩んでいた。

「あゝ、ダメだ、全然思い付かない」

男はヤバイくらい悩んでいた。

男は小説家だ。

小説にも様々なジャンルがあるが男はその中でも推理小説を得意としていた。一応、今までに六冊の小説を世に出しているがまるで売れない。もちろん賞なんてものを取ったためしがない。

小説家になってもう何年も経つのに一つも賞を取れないなんて、もしかして自分には才能がないのかもしれない。最近になってそんなことを思うようになってきた。

しかし辞めるにしても一つで良いから賞を取りたいと思い、今こうして最後の小説を書いているのだ。

「賞を取るにはまず審査員を驚かさなくてはならない。その為には今までになかった衝撃の結末が必要だ」

男は、小説はラストで全てが決まると考えているのだ。しかし、そう簡単に思いつくはずがなかった。

「犯人は男だと思っていたが実は女だった・・・そんなの在り来たりか。それなら犯人は動物だったとか？・・・いや、それもすでにあるな・・・あつ、実は犯人は未来から来た宇宙人だった！・・・ありえないか」

全然良いアイデアが出てこなかったが、それでも男は諦めずにならずら考えた。

「被害者は実は生きていて、しかも犯人と共犯だった！・・・なんかつまらないなあ。じゃあ逆転の発想で、本当は殺人なんてなかった！・・・それは無理がありすぎか」

やはり良いアイデアはなかなか出てこなかった。

すこし休憩しようと男は大きく伸びをした。そして、ふと横を見た。そこには使い過ぎて不格好な形となってしまった小さな消しゴムがあった。

「消しゴムかあ・・・」

男は何気なく見た消しゴムから何かヒントが出てこないか考えてみた。

「消しゴム、消しゴム、消しゴム・・・ん？・・・消し、ゴム？」

男の頭の中に光が射した。

「そうか。消しゴムか。その手があったか！」

男は頭に射しこんだ光を逃さないように必死で頭をフル回転させた。

「登場人物は男女四人。それで最初に男がいなくなる。そしてこういうことが起きて、しかもその時、別の場所でも同じことが起るんだ。・・・いや待てよ、そうすると辻褄が合わなくなってくるな。・・・あつ、そうか。こうすれば良いのか。こうすれば全ての辻褄があつ。それで最後に犯人はあいつになるんだ。おお、そうすると全てが消されるんだ。あつ、そつか、でも実は物語はッ」

\*

「いや、良かったですね、殺人事件じゃなくて」

「ああ、まったくだな」

二人の刑事はそう言った。

「死体の第一発見者は奥さんでしたよね？」

「ああ、夫が『しばらく仕事に集中するから』と言って自室に入っ  
たとき全然出てこないの心配して見てみたそうだ」

「ビックリしたでしょうね」

「ああ。でも流石に推理作家の奥さんだな。『夫が誰かに殺されま  
した』だなんて勝手に殺人事件だと決めつけていたからな」

「それがまさかショック死だったなんて、こっちが驚きましたよ」

「死んでしまうくらい衝撃の話な男は考えてしまったんだな」

「でもすごい気になりますよね。どんな話だったんでしょう」

「さあな、それは誰にもわからないことだな」

「小説家っていうのも怖い職業ですね」

「そうだな」

そう言って刑事はパトカーを発進させた。

(完)

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7069f/>

---

衝撃の結末

2010年11月29日19時19分発行